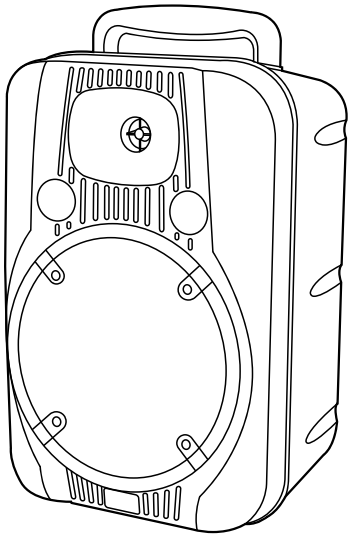
MM-SPAMP22

デジタルワイヤレス拡声器スピーカー（1.9GHz帯DECT方式）取扱説明書 ver.1.1



この度は、デジタルワイヤレス拡声器スピーカー(1.9GHz帯DECT方式)「**MM-SPAMP22**」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください。

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

①スピーカー本体 …… 1台
②ワイヤレスマイク …… 1本
③ワイヤレス送信機 …… 1台
④ヘッドマイク …… 1台
⑤ACアダプタ …… 1個
⑥電源ケーブル …… 1本
⑦収納カバー …… 1個
⑧4色ステッカーシール …… 3枚
⑨充電用USB A-Type-Cケーブル … 1本
⑩3.5mmステレオミニケーブル …… 1本
⑪取扱説明書･保証書(本書) …… 1部

※部品の欠品や破損があった場合は、**品番**(MM-SPAMP22)と
上記の部品番号(①～⑪)と**部品名**(電源ケーブルなど)をお知らせください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(https://www.sanwa.co.jp/)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

安全にお使いいただくためのご注意 …… 1
1.はじめに …… 1
2.特長 …… 2
3.各部の名称と働き …… 3
①スピーカー本体 …… 3
受信機部 …… 3
コネクタ/コントロール部 …… 4
オーディオプレイヤー部 …… 5
②ワイヤレスマイク …… 6
③ワイヤレス送信機(マイク機能あり) …… 7
④ヘッドマイク …… 8
4.接続例 …… 9
5.準備する …… 11
ワイヤレスマイクの準備 …… 11
6.基本操作 …… 11
ワイヤレスマイクを使用する …… 11
7.使用方法(ペアリング方法) …… 11
カラーラベル識別 …… 11
新規でワイヤレスマイクをペアリング・再ペアリングする方法 12
8.使用方法(外部入力・外部出力) …… 13
9.カバーの取付け方法 …… 15
10.三脚に取付ける …… 15
11.バッテリーメンテナンスについて …… 15
12.仕様 …… 16
13.保証規定・保証書 …… 18

安全にお使いいただくためのご注意 (必ずお守りください)

⚠ 本製品の保管方法について

●少なくとも3ヶ月に1度バッテリー残量をご確認ください。充電残量が少ない状態での長期保管はバッテリー劣化が進行します。速やかに充電を行い50%～90%の状態で保管をしてください。
●直射日光を避け、保管温度範囲内の環境で保管してください。

■警告
下記の表示事項を守らなかった場合、使用者が死亡、または重傷を負う危険があります。

＜分解しないでください＞
●故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対にしないでください。
また、内部を改造した場合の性能の劣化については保証いたしません。

＜内部に異物を落とさないでください＞
●内部に燃えやすいものや、硬貨などの金属片が入った場合、水などの液体がかかった場合は、接続しているコードを抜き、お買い上げいただいた販売店又は弊社にご相談ください。そのままでご使用になりますと火災や故障および感電事故の原因になります。

＜接続コードを傷つけないでください＞
●コードを傷つけたままご使用いただくと火災・感電の原因となります。

＜落雷について＞
●雷が鳴っているときに本製品に触れないでください。落雷により感電する恐れがあります。

＜セットを移動するときには＞
●接続しているコードの断線やショートを防ぐため他の機器との接続コードを取外してから動かしてください。火災や感電、製品が破損する恐れがあります。

＜他の機器と接続するときには＞
●各機器の電源がOFFになっていることを確認してください。また、本製品および接続機器のボリュームを0にしてから行なってください。最大音量になっていると突然大きな音が出て聴力障害の原因になる場合があります。

＜お手入れについて＞
●ときどき柔らかい布で乾ぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり、外装ムラになることがありますから絶対に使用しないでください。また、スプレー式の殺虫剤、芳香剤、消臭剤などもかからないよう注意してください。

＜無理な力は加えない＞
●スイッチやツマミには、無理な力を加えないでください。

1.はじめに

※本製品をご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
●本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。
●本書の内容についてのご質問やお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。
●本書の内容については予告なしに変更することがございます。

2 .特長

スピーカー部

●講義や講演、イベントなどへ手軽に持ち込み、簡単にセッティングできる拡声器スピーカーとマイクのセットです。
●スピーカーは最大80Wの高出力で、屋内約900㎡程度の空間での使用に最適です。
●ワイヤレスマイク（ハンドマイク）1本とワイヤレスヘッドマイク1セットを同梱しており、自由に移動しながら同時使用が可能です。
●デジタル制御による混信回避や自動チャネル選択機能を備えた1.9GHz帯DECT準拠方式を採用し、安定したワイヤレス通信を実現します。
●ダイバーシティアンテナ方式を採用しており、電波状態に応じて最適な受信を行うことで、音切れを抑えた安定した通信が可能です。
●市販のダイナミックマイク（有線）も接続できる標準的なマイク入力端子（φ6.3mm標準ジャック）を搭載しています。
●XLR/6.3mm TRSコンボジャックを搭載しており、マイクやギターなどの音響機器・楽器を接続できます。
●電源は家庭用コンセントで使用できるAC電源と、持ち運び時にも便利な内蔵バッテリー駆動の2WAYに対応しています。
●内蔵バッテリーには、電気自動車でも広く採用されているリン酸鉄リチウムイオン電池を採用し、長寿命と高い安全性を両立しています。
●USBメモリまたはSDカードに保存されたMP3音楽データの再生に対応しています。
●USB-A充電ポート（5V/0.5A）を2基搭載しており、ワイヤレスヘッドマイク（送信機）を充電できます。
●AUX IN/OUTを搭載し、3.5mmステレオミニプラグ接続によるアナログ音声入力・出力に対応しています。
●上面には大型ハンドルを搭載しており、持ち運びを容易に行えます。
●スピーカースタンド設置に対応しています。（35mmマウントホール）
●収納・保管や持ち運びに便利な専用カバー付きです。

ワイヤレスマイク部

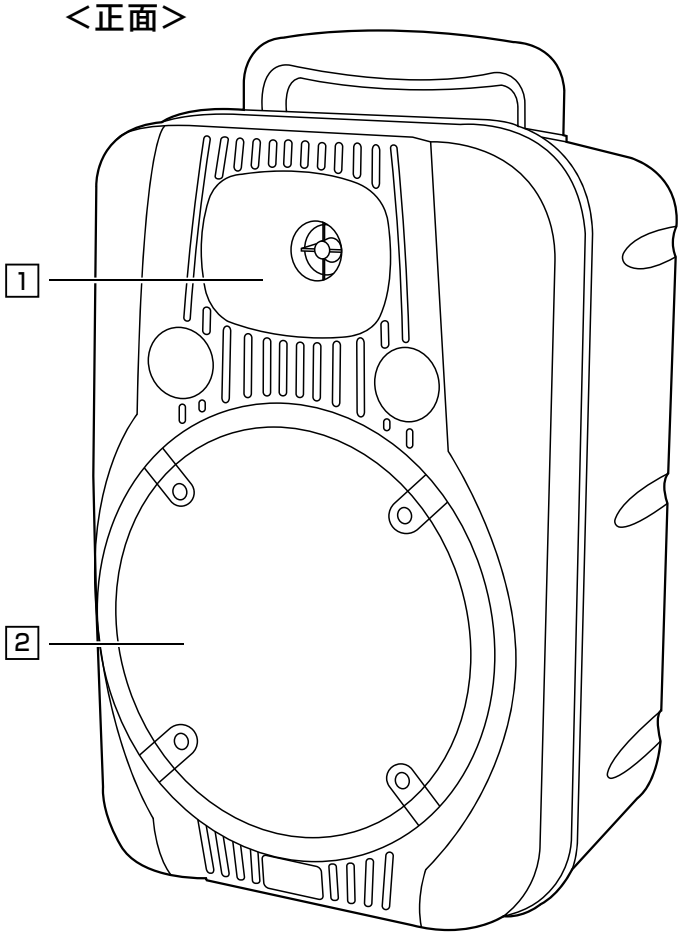
●電波干渉が少ない1.9GHz帯DECT準拠方式を採用したワイヤレスハンドマイクです。
●電源をONにしたまま、素早く手軽に音声のミュートON/OFF操作が可能です。

ワイヤレスヘッドマイク部

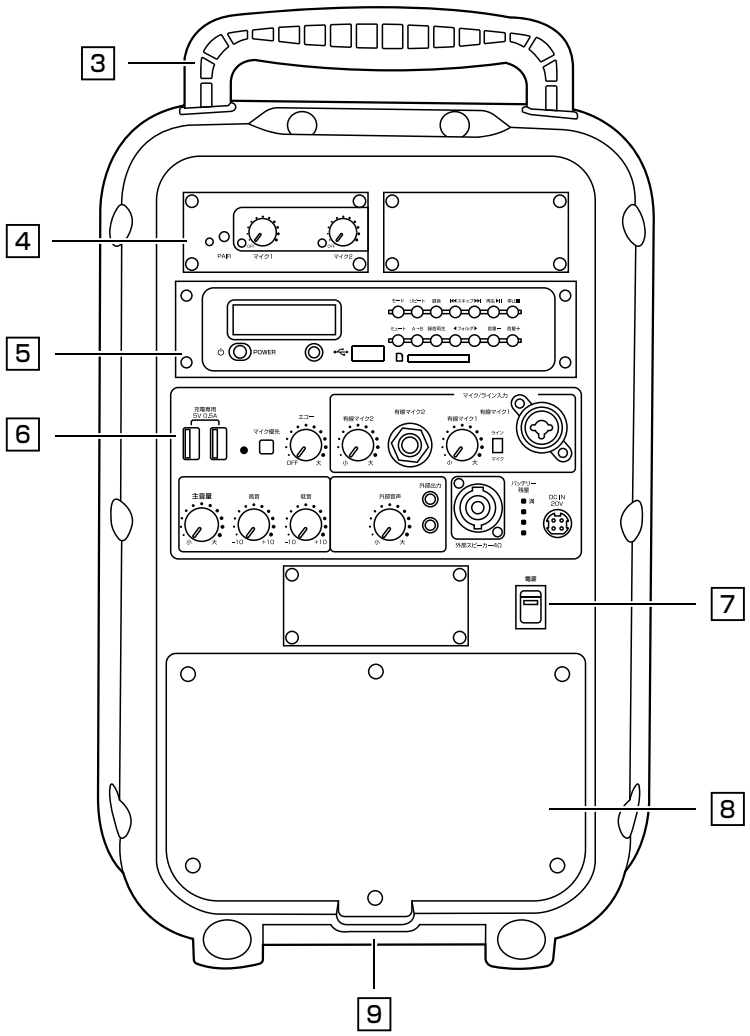
●送信機はクリップ固定式を採用しており、シャツなどへ簡単に取付けることができます。
●送信機本体にマイクを内蔵しているため、小型ワイヤレスマイクとしても使用可能です。
※集音範囲が狭いため、ピンマイク用途での使用は推奨しておりません。
●送信機へ同梱の有線ヘッドマイクを接続することで、よりクリアな音声入力が可能です。両手を自由に使えるため、講義やプレゼンなどにも便利です。

①スピーカー本体

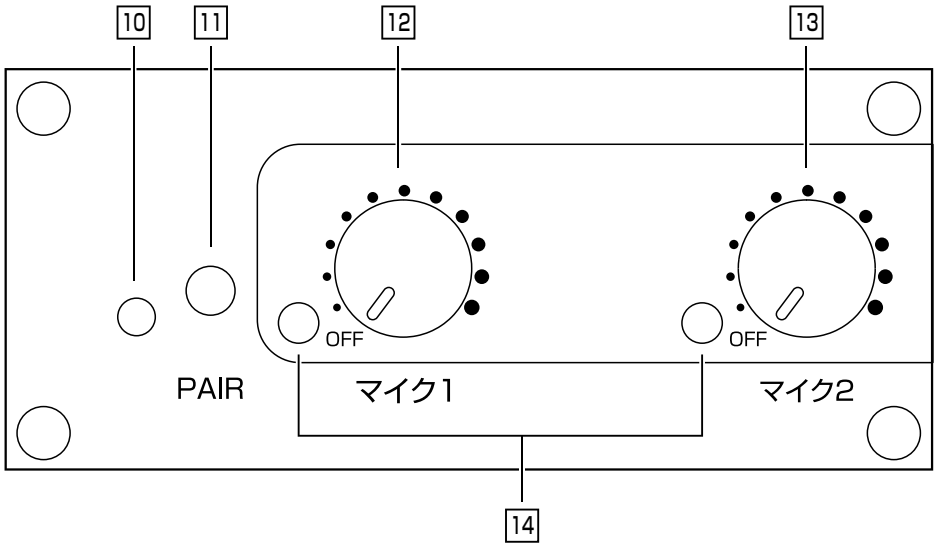
<正面>



<背面>



<4 受信機部>



1 ツイーター(2インチ×1)

2 フルレンジスピーカー(8インチ×1)

3 ハンドル

4 受信機
(使用方法は11ページ参照)

5 オーディオプレーヤー
(使用方法は13ページ参照)

6 コネクタとコントロール部
(詳細は下記参照)

7 電源スイッチ

8 内蔵バッテリー(リン酸鉄リチウムイオン電池)

9 スピーカースタンド用マウントホール(35mmマウントホール)

＜受信機部＞

10 電源LED
赤:ワイヤレス受信機 ON
OFF:ワイヤレス受信機 OFF

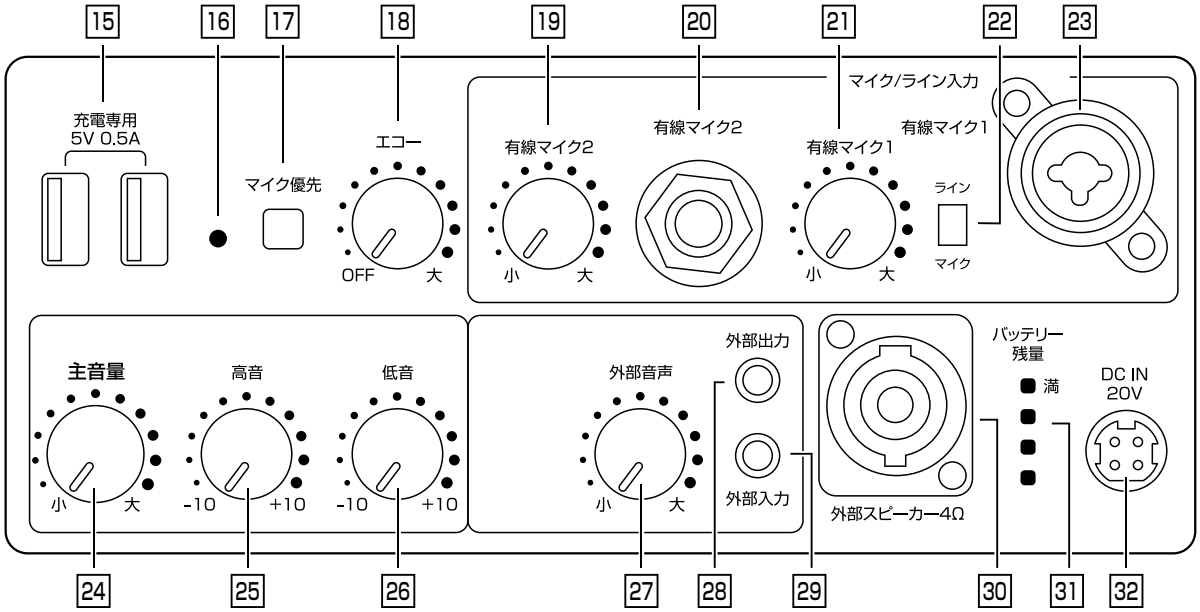
11 ペアリングボタン

12 レシーバー電源ON/OFFおよびマイク1の音量コントロール

13 マイク2の音量コントロール

14 マイク動作LED
青/赤 点灯:マイクがリンクされ、バッテリー残量は満/低
青/赤 ゆっくり点滅:マイクがミュートされ、バッテリー残量は満/低
青/赤 速い点滅:ペアリング中
OFF:マイクが OFF、またはペアリングされたマイクが存在しない

＜6 コネクタ/コントロール部＞



15 USB A 充電ポート

16 マイク優先モード インジケーター

17 マイク優先スイッチ

18 エコー調整

19 有線マイク2の音量調整

20 有線マイク2入力(6.3mm)

21 有線マイク1の音量調整

22 LINE/マイク切替スイッチ(マイク1用)

23 有線マイク1入力(コンボジャック)

24 マスターボリューム

25 高音調整

26 低音調整

27 オーディオ入力の音量調整

28 オーディオ出力(3.5mm)

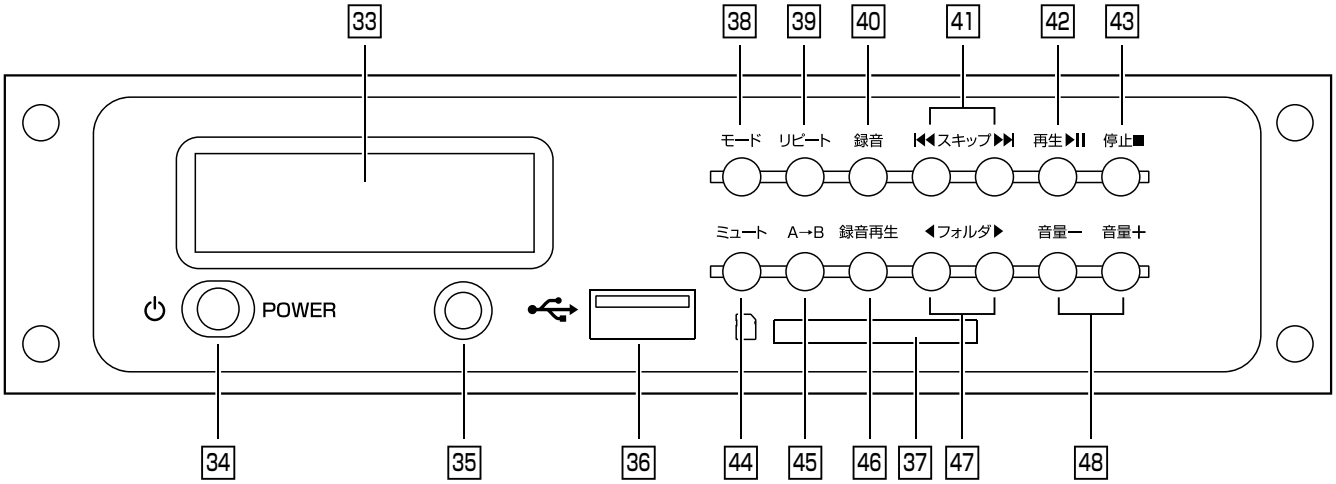
29 オーディオ入力(3.5mm)

30 SpeakON®コネクタ

31 バッテリーインジケーター

32 AC電源コネクタ

<5 オーディオプレイヤー部>



33 ディスプレイ
(詳細は13ページを参照)

34 電源ボタン
プレーヤーの電源を長押ししてON/OFFします。

35 IR センサー
リモコン用赤外線センサー。

36 USB 2.0 スロット

37 SD カードスロット

38 モードボタン
USBメモリとSDカードの間で音源を切り替えます。
※両方のデバイスが挿入されている場合、USBが優先的に再生されます。

39 リピートボタン
再生方法を切り替えます:
REP1:同じトラックを繰り返し再生
REP1 ALL:フォルダ内のすべてのトラックを繰り返し再生
ALL:全フォルダのすべてのトラックを繰り返し再生
RAN:全フォルダからランダム再生

40 録音ボタン
スピーカー音声を録音します。(13ページ参照)

41 トラック選択
前のトラック(◀◀)/次のトラック(▶▶)を選択。
選択後、自動的に再生が始まります。
注意:再生中に ◀◀ または ▶▶ を長押しすると早戻し/早送りができます。

42 再生/一時停止ボタン

43 停止ボタン

44 ミュートボタン
音声をミュートします。
※ミュート中もトラックは再生されています。

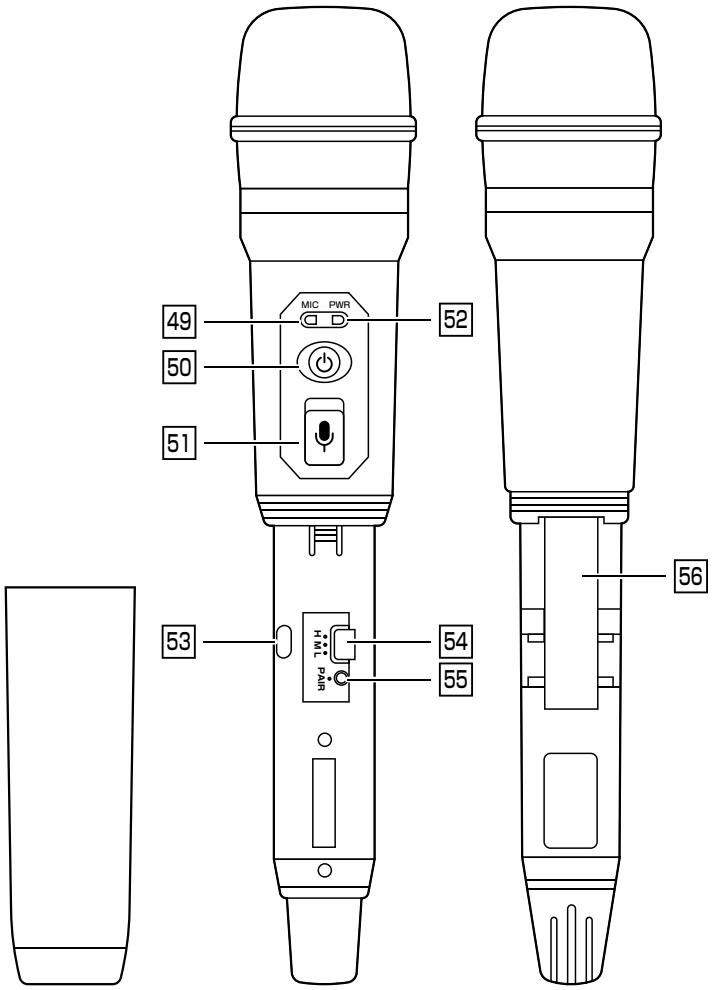
45 A-B リピートボタン
特定区間を繰り返し再生します(13ページ参照)。

46 録音再生ボタン
録音した音声を再生します(説明は13ページ参照)

47 フォルダ選択ボタン
前のフォルダ(t)/次のフォルダ(u)を選択し、
▶II を押して決定/入ります。
自動的に再生が開始されます。

48 音量調整ボタン
再生中の音量を調整できます。

②ワイヤレスマイク 【MM-SPHMW8(別売 単品品番)】



53 USB-C 充電ポート

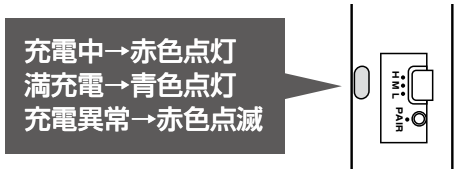
5V/1AまでのUSB給電に対応し、ニッケル水素充電池をセットした状態で充電をすることができます。(2300mAh以下に限る)

※一般的なニッケル水素充電池のほか、充電利用に対応した充電池に対応しますが全ての充電池に対して動作保証するものではありません。

マイクを充電ケーブルに接続して充電すると、自動的に電源OFFになります。充電インジケーターが点灯します。

※5V/1Aを超えるUSB ACアダプタ、PDアダプタ等では充電できません。

赤ランプ点灯:充電中
青ランプ点灯:充電完了
赤ランプ点滅:充電異常のため充電停止
(一次電池の誤装着、または電池未装着)



※充電容量が2300mAhを超える充電池の場合、LED表示は満充電になりますが、実際には完全充電されません。ご利用される充電池に対応した専用充電器での充電を行ってください。

54 マイクゲインスイッチ

H:高(集音範囲が広くなりますがハウリングが発生しやすくなります。)
M:中(初期設定。)
L:低(集音範囲が狭くなりますがハウリングは発生しにくくなります。)

49 マイク動作LED

緑:マイク ON
赤:マイク ミュート

50 電源ボタン

51 マイクスイッチ

上にスライド:マイク ON
下にスライド:マイク ミュート

52 リンク/電源LED

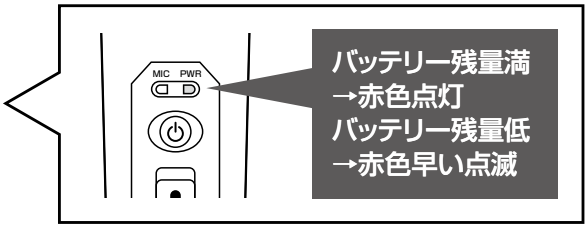
点灯:スピーカーとリンク済み
速い点滅:ペアリング中
ゆっくり点滅:まだどのスピーカーともリンクしていない

55 ペアリングボタン

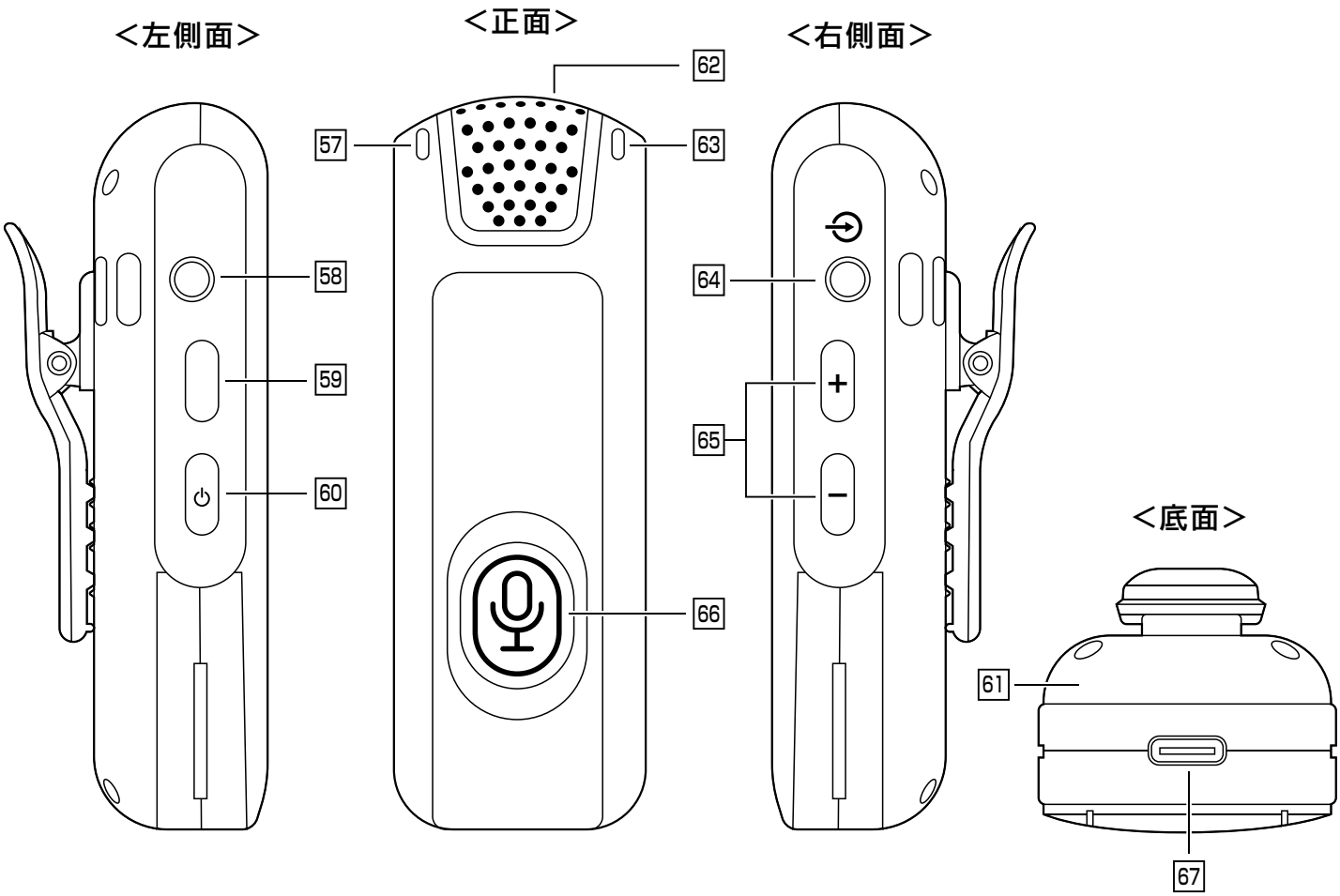
56 電池BOX

※乾電池は別売りです。アルカリ乾電池2本またはニッケル水素充電池2本をお買い求めください。

※長期間使用しない場合は電池を取外してください。



③ワイヤレス送信機(マイク機能あり)【MM-SPHMW9(別売 単品品番)】



57 マイク動作LED
緑:マイク ON
赤:マイク ミュート

58 ヘッドマイク入力(MM-SPHM5接続用)

59 ペアリングボタン

60 電源ボタン

61 内蔵リチウムイオンポリマーバッテリー

62 内蔵マイク
本製品単体で小型マイクとしても使えます。

63 リンク/電源LED
青/赤 点灯:スピーカーとリンク、バッテリー満/低
青/赤 速い点滅:ペアリング中、バッテリー満/低
青/赤 ゆっくり点滅:まだどのスピーカーともリンクされていない

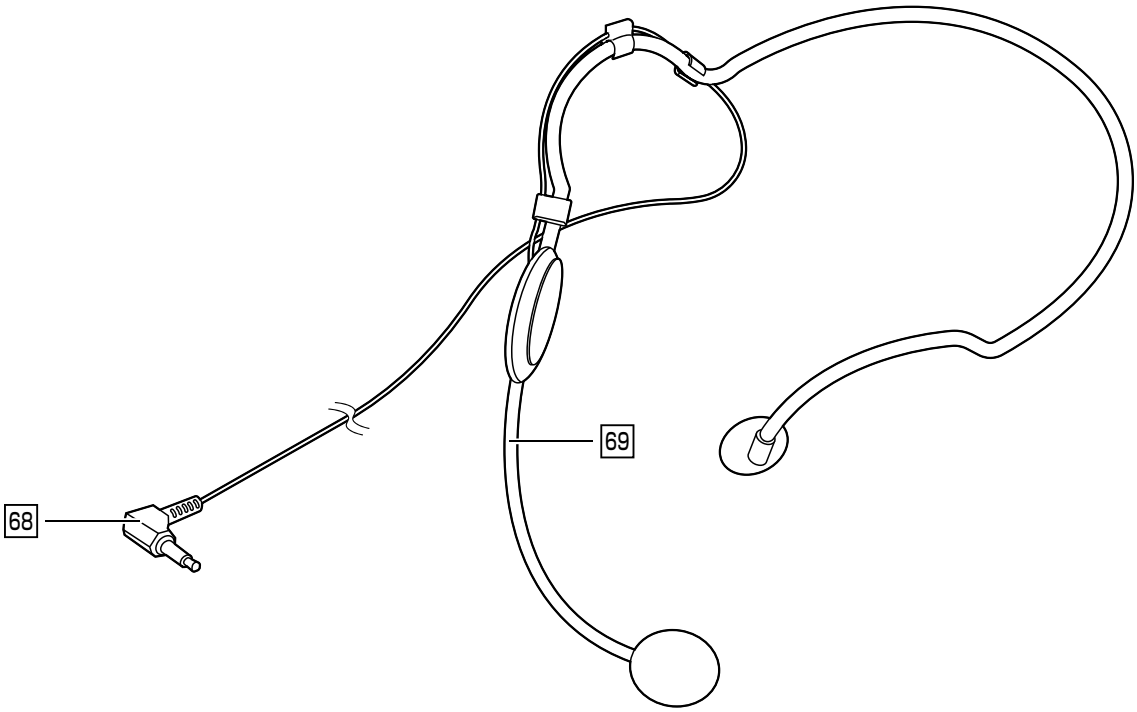
64 オーディオ入力(3.5mmステレオミニジャック)

65 マイクゲイン調整(+/−)
+/− を3秒長押しして設定モードへ
リンク/電源LEDがマイクレベルを
点滅表示
レベル1(最小):1回点滅 / レベル2:2回点滅
レベル3(初期値):3回点滅 / レベル4:4回点滅
レベル5(最大):5回点滅

66 バックライトマイクボタン
緑:マイク ON
赤:マイク ミュート

67 USB-C 充電ポート
スピーカー本体の 15 USB A充電ポートと付属の充電用ケーブルで接続し、充電を行ってください。

④ヘッドマイク 【MM-SPHM5（別売 単品品番）】

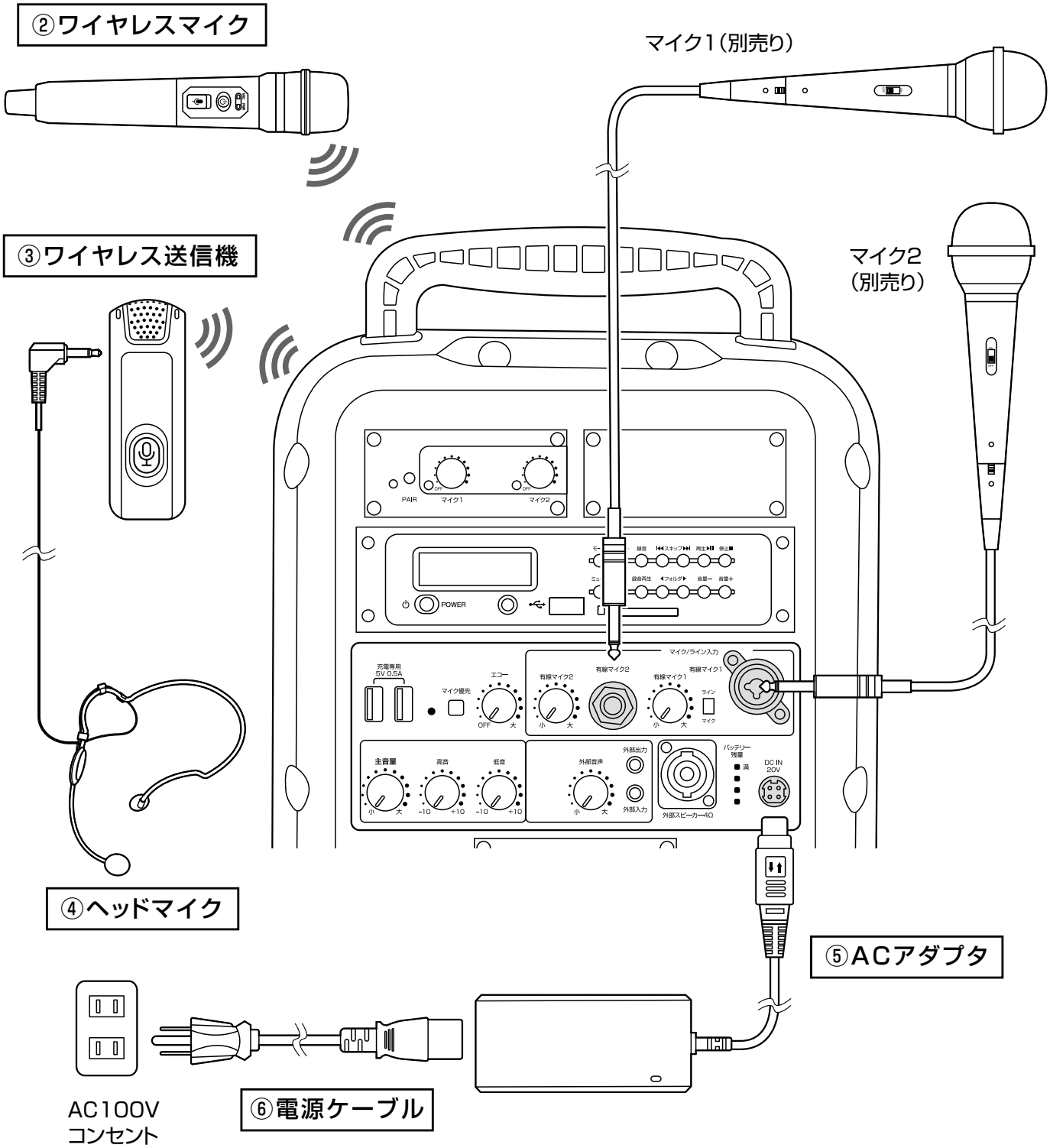


68 コネクタ（3.5mmモノラルミニプラグ）

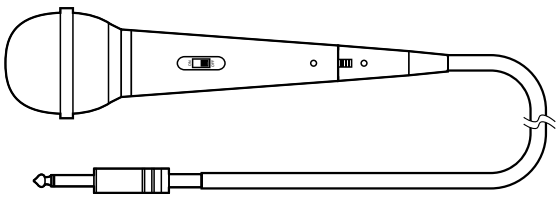
69 マイク

4.接続例

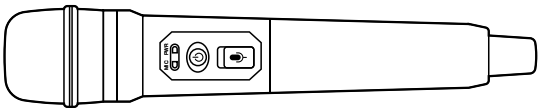
ワイヤレスマイクとスピーカー間の動作距離は約30メートル です。この距離は、設置環境によって変動する場合があります。



弊社製ハンドマイク（有線）
MM-SPHM1（別売り）



弊社製ワイヤレスマイク
MM-SPHMW8（別売り）



※本製品（スピーカー本体）に対し、ワイヤレスマイク2本までしか接続できません。

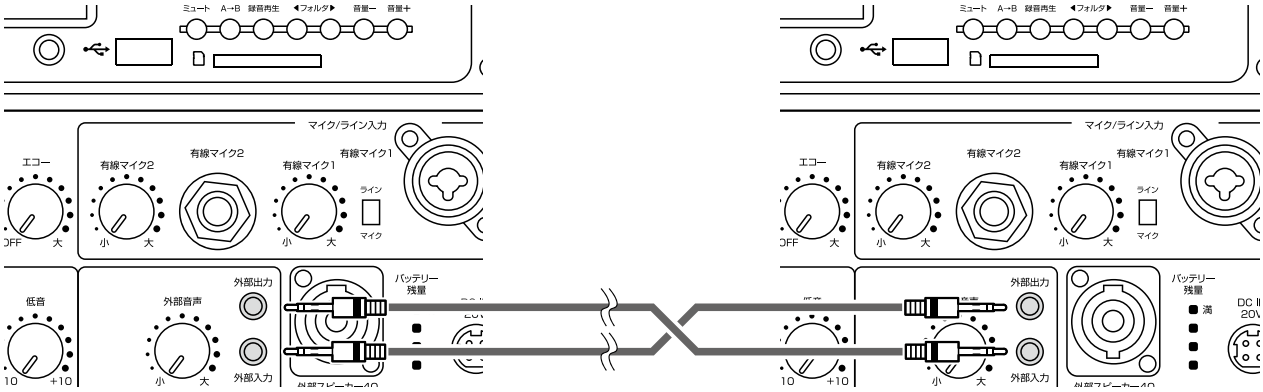
本製品を2台準備し相互に接続することで最大4本のワイヤレスマイクを同時使用することができます。
それぞれに付属する3.5mmステレオミニケーブル(オス･オス)を2本使用して下記のように接続します。
(左側オーディオ出力→右側オーディオ入力、左側オーディオ入力→右側オーディオ出力)

外部音声出力
(3.5mmステレオミニプラグ)へ

外部音声入力
(3.5mmステレオミニプラグ)へ

スピーカー1

スピーカー2



⑩3.5mmステレオミニケーブル

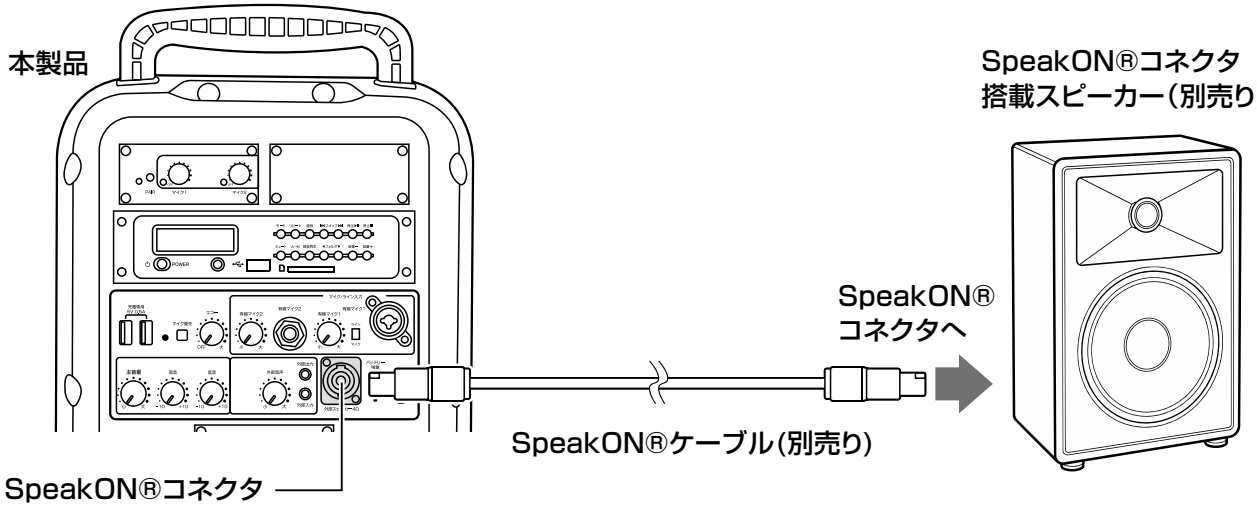
スピーカー2の音がスピーカー1からも出力され、スピーカー1の音がスピーカー2からも出力されます。

※本製品を3台以上ループ接続し、4本以上のワイヤレスマイクを同時使用する環境は動作保証いたしません。
※3.5mmステレオミニケーブルは別途ご用意ください。対応するケーブル長について明確な規定はございません。
約10m以内であれば通常問題なくご使用いただけます。

<本製品に搭載されるSpeakONコネクタと別売りのSpeakONコネクタ搭載スピーカー(パッシブスピーカー)を接続することで拡張することができます。>

別売りのspeakON®-speakON®ケーブル を使用することで構築できます。

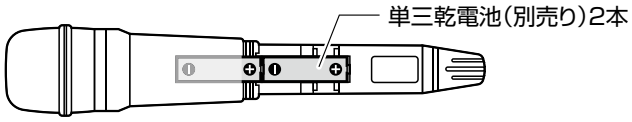
ケーブルの一端を、MM-SPAMP22のSpeakON®コネクタに、もう片方を他のSpeakON®コネクタ搭載スピーカー(パッシブスピーカー)と接続します。



5.準備する

ワイヤレスマイクの準備

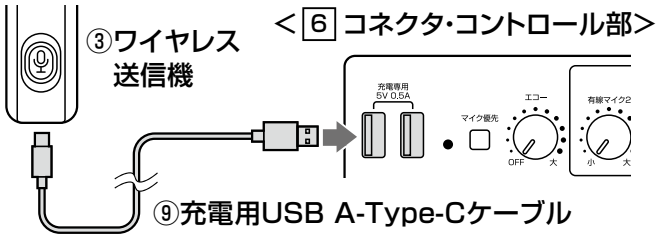
電池カバーを開け、単三乾電池を2個入れます。
+と−の向きを正しく入れてください。
※乾電池は別売りです。スピーカー本体の15USB A充電ポートから充電する場合はニッケル水素充電池をお買い求めください。(6ページを参照)



②ワイヤレスマイク

ワイヤレス送信機の準備

付属の充電用USB A-Type-Cケーブルを使用してスピーカー本体の15USB A充電ポートに接続し、充電します。



スピーカー本体の準備

電源ケーブルを接続する

本製品の 7 電源スイッチが「電源OFF」になっていることを確認してから、付属の電源ケーブルを、32 AC電源コネクタに接続し、コンセントに電源ケーブルを接続してください。

6.基本操作

ワイヤレスマイクを使用する

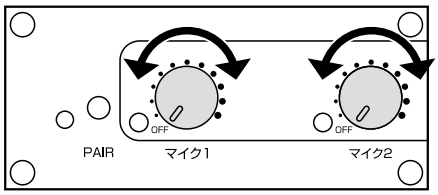
スピーカー本体の電源をONにする

ワイヤレスマイクの電源ボタンを2秒間長押しし、ONにする

本製品は初回出荷時にワイヤレスマイク2本とスピーカー本体をペアリングした状態で出荷しております。

以上でワイヤレスマイクを使用できます。
音量コントロールでマイク音量を調整してください。

<4 受信機部>



7.使用方法(ペアリング方法)

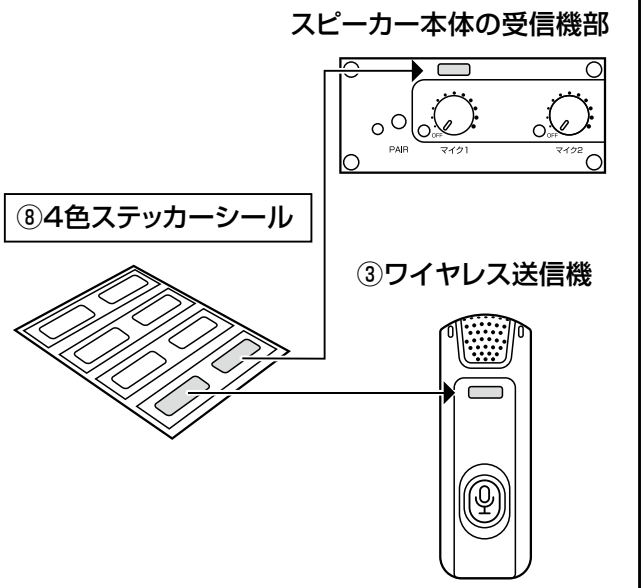
本製品は、拡声器スピーカー本体とワイヤレスマイクがすでにペアリングされた状態になっています。(初期状態)

拡声器スピーカー本体とワイヤレスマイクの電源をONにするとすぐにご利用いただけます。

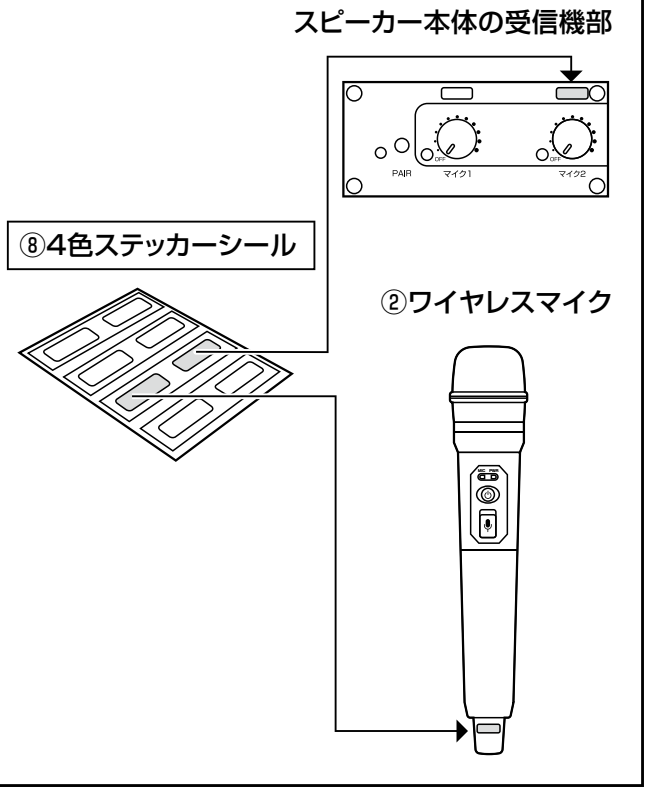
カラーラベル識別

システムをペアリングする前に、指定されたとおりレシーバーとマイクの両方にカラーラベルを貼付することを推奨します。

<ワイヤレス送信機>



<ワイヤレスマイク>

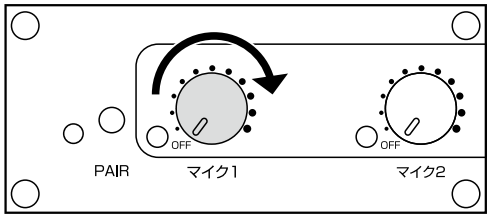


新規でワイヤレスマイクをペアリング・再ペアリングする方法

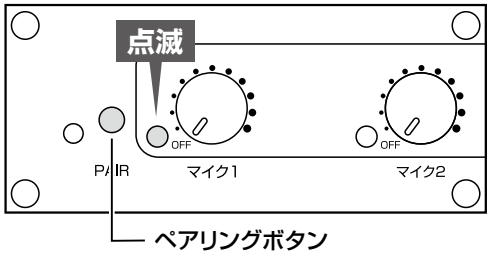
1 電源をONにする

スピーカー本体の受信機部にあるマイク1の音量コントロールを時計回りに回して電源を入れます。

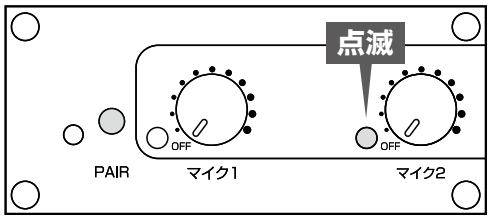
＜4 受信機部＞



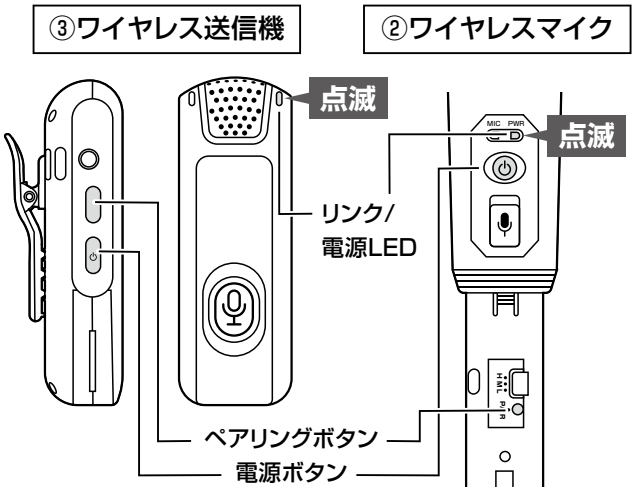
2 マイク動作LEDが点滅するまで、ペアリングボタンを長押しします。



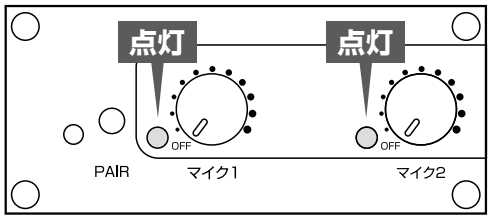
3 必要に応じて、ペアリングボタンをもう一度押して別のマイクを選択します。

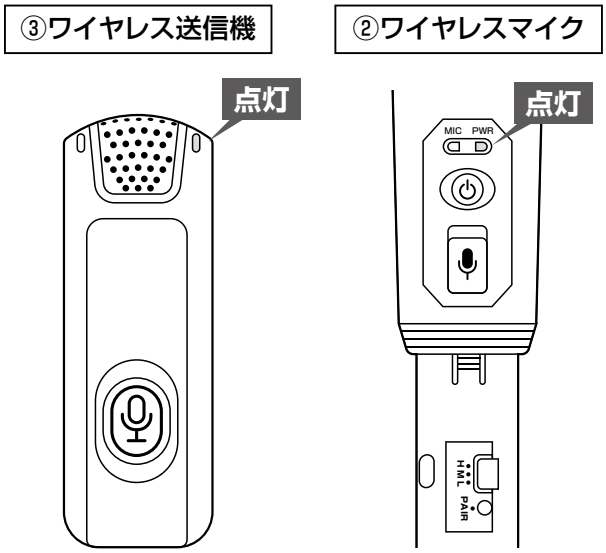


4 マイクのペアリングボタンと電源ボタンの両方をリンク/電源LEDが点滅するまで長押しします。



5 ワイヤレス送信機とワイヤレスマイクの両方のLEDが点灯したら、ペアリングは完了です。



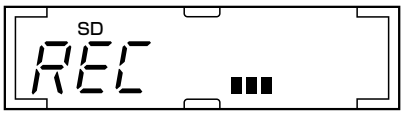


オーディオプレーヤーを使用する

各ボタン等の説明一覧は、5ページの「各部名称と働き」のオーディオプレイヤー部の欄を参照してください。

録音する

オーディオ再生中(▶)または一時停止中(II)に録音モードに入ります。



1 録音モードを表示する

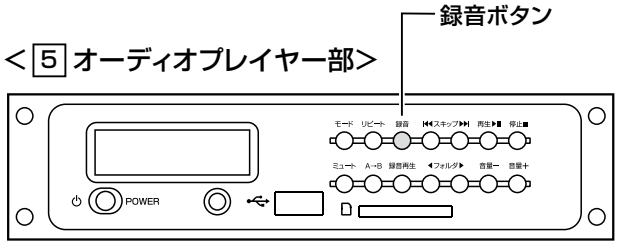
録音ボタンを1.5秒長押しし、録音モード表示が表示されるまで待ちます。

2 録音を開始する

短押しで録音を開始します。下部に≪ ≫が表示されます。

3 録音を一時停止/再開する

録音を一時停止/再開するには、もう一度録音ボタンを押します。



4 指定された保存先デバイスに保存する

録音を終了して指定された保存先デバイスに保存するには、1.5秒長押しします。表示が再び元に戻ります。

5 別の録音を作成する

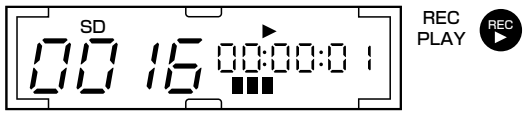
手順 2 ～ 4 を繰り返して、別の録音を作成できます。

6 録音モードを終了する

録音モードを終了してオーディオ再生に戻るには、録音ボタンを1.5秒長押しします。

録音再生を行う

オーディオ再生中(▶)または一時停止中(II)にREC PLAYモードに入る/終了します。



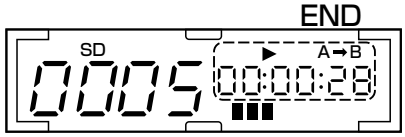
1 録音再生を開始する

音声区間の開始時にボタンを押すと、表示アイコンが出ます。



2 録音再生を終了する

音声区間の終了時に再度ボタンを押すと、表示アイコンが出ます。



3 繰り返し再生する

この特定区間は自動的に繰り返し再生されます。

4 モードを終了する

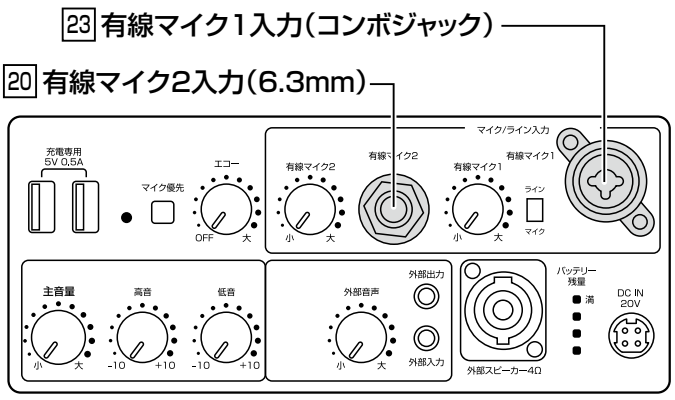
このモードを終了するには、ボタンを押します。
(表示アイコンは消えます)

<録音前の注意>

- ●モードボタンを押して、録音データの保存先(USBまたはSD)を選択してください。
- ●録音失敗を防ぐため、事前に音源の音量が適切に設定されていることを確認してください。
- ●選択した記録媒体の容量が不足すると、“ ”が表示されます。保存先を変更してください。
- ●録音ファイルは保存先デバイス内に自動で“JL_REC”フォルダが作成されます。このフォルダを手動で整理/削除すると、録音音声の再生に失敗する可能性があります。

有線マイクを接続する

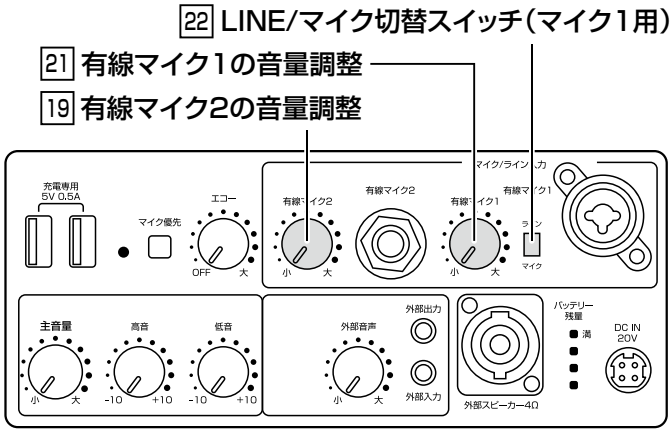
1 コントロールパネルの有線マイク1入力（コンボジャック）または有線マイク2入力（6.3mm）に有線マイクを接続する



<コネクタ/コントロール部>

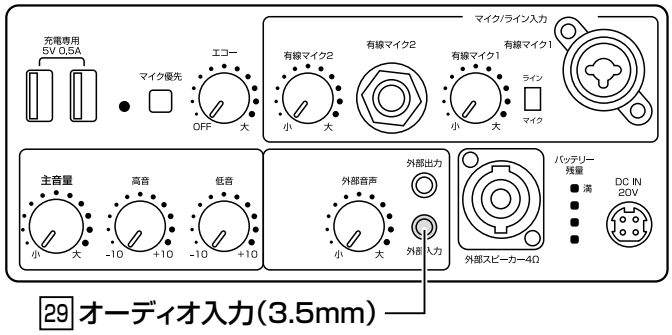
2 それぞれの音量コントロールで調整する

有線マイク1入力（コンボジャック）に接続している場合は、LINE/マイク切替スイッチをマイク側に切替えてください。



スマートフォンなどの音楽を流す

1 コントロールパネルのオーディオ入力（3.5mm）に接続する



2 機器側で操作をして音楽を再生する

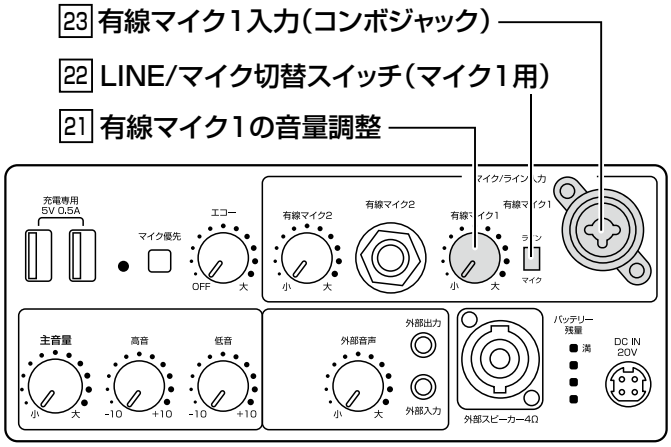
電子楽器を接続する

1 コントロールパネルの有線マイク1入力（コンボジャック）に電子楽器等を接続する

※有線マイク2入力（6.3mm）はマイク入力専用です。電子楽器等は接続しないでください。

2 音量コントロールで調整する

LINE/マイク切替スイッチをライン側に切替えてください。



マイク優先機能

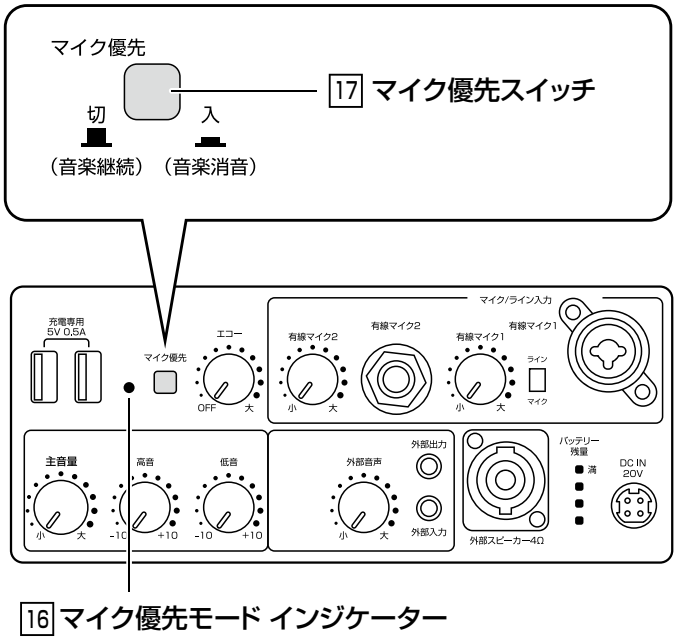
マイク優先スイッチ：「入」時

音楽再生時にワイヤレスマイク入力をすると一時的に音楽を消音します。ワイヤレスマイク入力がなくなると音楽ボリュームは戻ります。

マイク優先スイッチ：「切」時

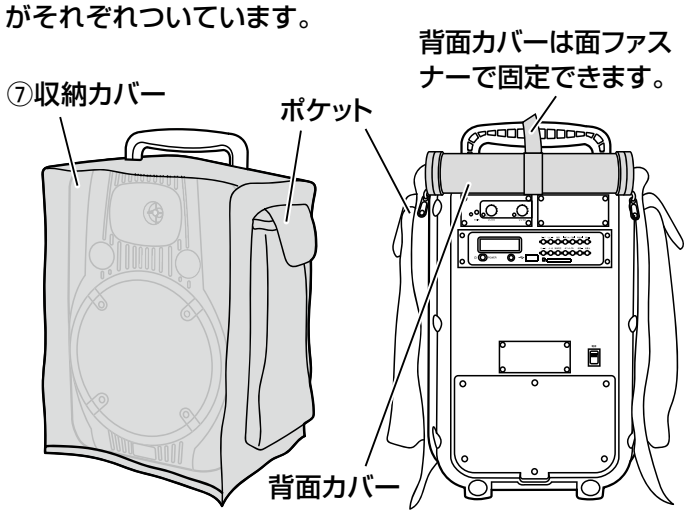
音楽再生とかぶる形でワイヤレス入力できます。

インジケーターで切/入を確認できます。



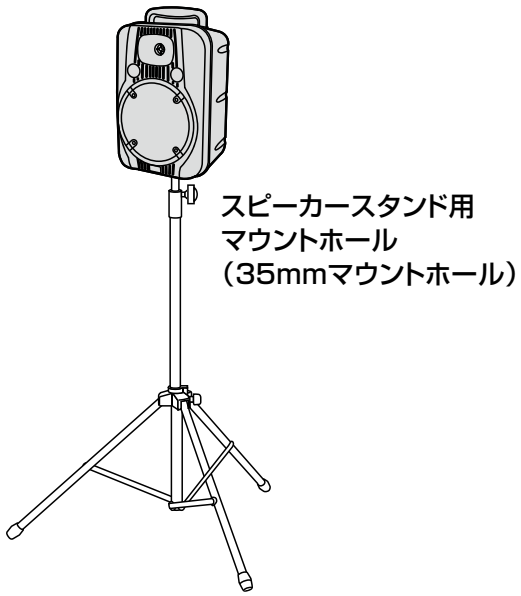
9.カバーの取付け方法

収納カバーのメッシュ部分がスピーカー面になるように上から被せます。被せたままでも本製品は使用できます。
背面のファスナーを開け、巻いたカバーを面ファスナーで固定することで被せたままでもボタン操作ができます。
両サイドにはハンドマイクなどを収納できる便利なポケットがそれぞれついています。



10.三脚に取付ける

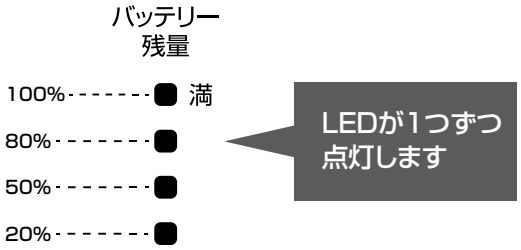
弊社製スピーカースタンドMM-SPST6N(別売り)を使用して三脚に取付けることができます。



11.バッテリーメンテナンスについて

スピーカー部

●バッテリー残量
スピーカーの充電中は、バッテリーインジケーターが変動します。満充電になると、一番上の緑色ランプが点灯したままになります。赤色インジケーター（バッテリー残量20%↓）が表示されたら、すぐに充電してください。満充電後は、必ずプラグを抜いてください。
(LEDは1つずつ順に点灯します)



●初回使用前
バッテリーは時間とともに放電します。性能を確保するため、初回使用前に必ず充電してください。

●保管とメンテナンス
バッテリー寿命を延ばすため、スピーカーを60°Cを超える高温、火気、または極端な環境にさらさないでください。長期間使用しない場合は、満充電にしてから涼しく乾燥した場所に保管してください。6ヶ月ごとにバッテリーを再充電してください。

●安全とサービス
ご自身でスピーカーを修理しないでください。専門技術者以外が分解すると、電圧・短絡・その他予期せぬ電気的問題により危険が生じ、保証が無効になる可能性があります。必要な場合は、必ずサプライヤーに連絡してください。

ワイヤレス送信機

●充電LED
MM-SPHMW9(ワイヤレス送信機)をMM-SPAMP22のUSB-A充電ポートに接続し付属の充電用USB A-Type-Cケーブルを使用して充電してください。またはUSB ACアダプタ(5V/1A)でも充電は可能です。
※MM-SPAMP22本体の電源をONにする必要があります。
充電中は赤色LEDが点灯します。満充電になると、青色LEDに変わります。



●初回使用前
バッテリーは時間とともに放電します。性能を確保するため、初回使用前に充電をしてご利用ください。

●保管とメンテナンス
赤色インジケーターが表示されたら充電してください。長期間使用しない場合は、満充電にしてから涼しく乾燥した場所に保管してください。6ヶ月ごとにバッテリーを再充電してください。

●安全とサービス
ワイヤレス送信機が過熱したり、バッテリー異常が見られる場合は直ちに使用を中止してください。必要な場合は弊社またはご購入店にお問い合わせください。

12.仕様

スピーカー部

実用最大出力	80W
周波数特性	70～15000Hz
スピーカー形式	バスレフ型フルレンジスピーカー
スピーカーサイズ	8インチ(直径約210mm)
ツィーターサイズ	2.0インチ(直径約57mm)
外部入力	3.5mmステレオミニジャック ×1、6.3mm標準ジャック ×1(マイク用/楽器用)、 XLR/6.3mmTRSコンボジャック(マイク/楽器用)×1、USBポート(音楽プレーヤー/USBメモリ用)×1、 SDカードスロット(音楽プレーヤー/SDメモリーカード用)×1
外部出力	3.5mmステレオミニジャック×1、USB-A充電ポート(5V/0.5A)×2、2極SpeakON端子×1
アンテナ形式	内蔵アンテナ(ダイバーシティ)
電源	AC100V～240V 50/60Hz、内蔵リン酸鉄リチウム電池(12.8V、6000mAh)
充電方法	AC電源(100V-240V)
充電時間	約4時間
連続使用時間	約8時間
運用電波帯域	1895.616～1904.256MHz(1.9GHz DECT準拠方式)
サイズ・重量	約W292×D230×H473mm･約6.9kg

＜バッテリー情報＞

消費電力(Ah)	6.0Ah
電池組成	32700電池セル×4、保護基板(保護回路)×1
電池の種類	リン酸鉄リチウム電池(鉄リチウム電池)
電池のサイズ	90.5×69.7×100mm
電池の数	1個
電池の重量(グラム)	約730g
電池1個あたりのセル数	4個
電池当たりのワット時	76.8Wh
リチウム含有量	7.2g

ワイヤレスマイク部

型式	単一指向性ダイナミックマイク
アンテナ形式	内蔵アンテナ
送信周波数	1895.616～1904.256MHz
無線方式	1.9GHz DECT準拠方式
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー
電波形式	F1D、F1E
変調方式	GFSK
占有帯域幅	<1728kHz
空中線電力	0.1W未満
送信周波数安定度	10ppm以下
不要輻射	0.25μW以下(-36dBm)
基準周波数偏移	±20kHz
感度	−53±3dB
インピーダンス	300Ω
電源電圧	DC3.0V(単3形乾電池×2)
電池持続時間	約19時間(アルカリ電池使用時)

ワイヤレス送信機(マイク機能あり)

アンテナ形式	内蔵アンテナ
送信周波数	1895.616～1904.256MHz
無線方式	1.9GHz DECT準拠方式
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー
電波形式	F1D、F1E
変調方式	GFSK
占有帯域幅	<1728kHz
空中線電力	0.1W未満
送信周波数安定度	10ppm以下
不要輻射	0.25μW以下(-36dBm)
基準周波数偏移	±20kHz
感度	内蔵マイク:-47±3dB
インピーダンス	外部マイク入力端子の入力インピーダンス: 2.2kΩ
電池	リチウムポリマー(Li-Polymer)電池、3.7V/1000mA
電池持続時間	約12時間(内蔵リチウム電池)

＜バッテリー情報＞

消費電力(Ah)	1.0Ah
電池組成	電池セル×4、保護基板(保護回路)×1
電池の種類	ポリマーリチウムイオン電池
電池のサイズ	9.8×48×22.5mm
電池の数	1個
電池の重量(グラム)	約18g
電池1個あたりのセル数	1個
電池当たりのワット時	3.7Wh
リチウム含有量	0.53g

ヘッドマイク

型式	全指向性エレクトレットコンデンサー型
周波数特性	100～15000Hz
感度	−68dB±3dB(0dB =1V/μbar、1kHz)
インピーダンス	2.2kΩ±30%
ケーブル長	約120cm
コネクタ	3.5mmモノラルミニプラグ

共通仕様

動作温度	0℃～50℃
保管温度	−20℃～60℃
動作湿度	0～80% 結露なきこと
保管湿度	0～80% 結露なきこと

13.保証規定

1)保証期間内(本製品のご購入日から起算されます)に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。
万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理または交換いたしますので、保証書(ご購入が証明できるもの)と製品を確認しお買い上げの店舗に連絡してください。
2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
⑴保証書(ご購入が証明できるもの)をご提示いただけない場合。
⑵所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
⑶故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
⑷故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
⑸天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
⑹譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。
これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
7)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
8)保証書(ご購入が証明できるもの)は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
9)保証書(ご購入が証明できるもの)は日本国内においてのみ有効です。

保 証 書

サンワサプライ株式会社

型番 **MM-SPAMP22**		シリアルナンバー
お客様	お名前	
	ご住所	〒 TEL
販売店	販売店名・住所・TEL 担当者名	
保証期間 1年		ご購入日：　　年　　月　　日

最新の情報はWEBサイトで　https://www.sanwa.co.jp/

本製品の詳細情報はこちら!
スマホで読み込むだけで
簡単にアクセス!

弊社サポートページはこちら!
■サポート情報
■ソフトダウンロード
■Q&A(よくある質問)
■各種対応表
など、最新情報を随時更新しています。

ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(https://www.sanwa.co.jp/)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1　TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8　TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所/〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8　TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所/〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 TM仙台ビル　TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所/〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則武1-16-18 CUBE MEIEKI　TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-5-36 ONEST新大阪スクエア　TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
広島営業所/〒732-0828 広島県広島市南区京橋町7-18 新井ビル　TEL.082-264-2716 FAX.082-264-2717
福岡営業所/〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3博多八百治ビル　TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

CG/BB/RIDaNo